



慶徳小学校学校経営ビジョン 2021

喜多方市の人づくりの指針

- ～なかよく たくましく 生きる～
- ・人を思いやり 敬います
 - ・勉強に励み 体を鍛えます
 - ・「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
 - ・人として恥ずかしい行いをしません
 - ・喜多方を誇り 社会に役立ちます
 - わたしたちは くじけない強い心を持って 目標に向かってやりぬきます

喜多方市教育委員会の指導の重点

【目標】全ての子どもの「生きる力」を育む

【3つの共通実践】

- ① 学力向上
- ② 自己肯定感を育む活動の充実
- ③ 地域とともに歩む学校づくりの推進

慶徳小学校の重点事項

- ・少人数のよさ及び課題を踏まえた指導
- ・基礎・基本の定着と活用力の育成
- ・学習習慣の確立と学ぶ意欲の向上
- ・豊かな心と健やかな体の育成
- ・歴史と伝統を学び、引き継ぐ児童の育成

保護者の願い

- ・思いやりと協調性をもった子どもに。
- ・健康で元気な子どもに。
- ・自分の考えをもち、表現できる子どもに。
- ・自分から進んで行動できる子どもに。
- ・まじめに、ねばり強く取り組む子どもに。

＜教育目標＞

心豊かで、主体性のある児童の育成

- ◎ かんがえる子（知）
- ◎ おもいやりのある子（徳）
- ◎ たくましい子（体）

育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子

＜合言葉＞「めあてをもって こつこつと」

＜自己マネジメント力の育成＞

I 一人一人に確かな学力を身につけます

- 基本・基本の確実な定着と活用力の向上を図ります。
 - ・目標となる「見方・考え方」を明確にした指導と評価の工夫
 - ・R-PDCA サイクルを生かした授業・家庭学習の充実
 - ・「ふくしま学力調査」「喜多方市総合学力調査」の分析と活用
- リーディングスキル（基礎的な読む力）の向上を図ります。
 - ・リーディングスキルテスト（RST）の実施と分析・活用
 - ・汎用的読解力「6つのスキル」を意識した発問の工夫
- ICT の特性を生かした学習指導の充実を図ります。
 - ・タブレット、プロジェクターの特性を生かした授業の展開
 - ・タイピング力を含むICT 活用スキルの向上
- 特別支援教育の充実を図ります。
 - ・ユニバーサルデザインによる授業の工夫
 - ・個別的支援及び集団指導の工夫
 - ・保護者、関係機関（SC・医療等）との協働連携

II 体験を通して豊かな心を育てます

- 楽しい学級づくりに取り組みます。
 - ・よさを認め合う活動の積極的な取組（ほめ言葉のシャワー）
 - ・Q-U テスト「満足群」90%以上を目指した取組
- 地域教材の活用と地域の活動に積極的に取り組みます。
 - ・慶徳お田植え祭りの理解と積極的参加
 - ・地域資源の教材化を図った授業展開（伝統文化、史跡、農業科）
 - ・外部人材の積極的な活用
- 異学年交流の充実を図ります。
 - ・リーダーシップとフォロワーシップの育成
 - ・「のびのびタイム」の充実
- 道徳教育の充実を図ります。
 - ・多面的、多角的に考え合う授業の実施
 - ・別業を活用した計画的、関連的指導の充実
- 慶徳版 SDGs を推進します。
 - ・「環境」「人権」「文化理解」を視点にした実践活動の推進
 - ・「SDGs カレンダー」をもとにした計画的な取組

III 健康教育と安全教育を充実させます

- 体力の向上に努めます。
 - ・朝のマラソンの充実や縄跳び運動の継続的な実施
 - ・外部講師の積極的活用
 - ・「体力向上マイプラン」（自分手帳）の実施
- 交通事故〇・学校事故〇に努めます。
 - ・集団登校の安全確保（児童見守り隊との連携）
 - ・自分の命は自分で守る学習の推進
- 自律的な生活習慣を身に付けられるようにします。
 - ・感染症予防に向けた「新しい生活様式」の励行
 - ・ネット依存防止と情報モラル学習の推進
 - ・肥満防止と改善指導
- 歯と口の健康に努めます。
 - ・むし歯治療率90%以上
 - ・歯磨き指導と口腔内の健康指導

IV 学びの環境を整備します

＜地域とともにある学校づくり＞

- コミュニティースクールと地域学校協働活動
- ・地域の人やもの、歴史文化から学ぶ活動の推進
 - ・学校支援ボランティアによる活動の推進
 - ・地域の行事等への積極的な参加
 - ・「地域」に学び、そのよさの発信

＜高い同僚性をもった教職員集団づくり＞

- 児童を笑う教師でなく、児童と笑う教師
- 具体的な児童の姿で説明できる教師
- 目標をもち、常に研修する教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師

＜教育力ある保護者との連携＞

- メディアコントロール力の育成
 - ・オフスクリーン運動の推進
- 児童の自己マネジメント力の育成
 - ・「早寝、早起き、朝ご飯」の推進
 - ・家庭学習サポート（環境づくり）